

第3章 意向調査及びワークショップの結果

1. 意向調査の結果

本整備計画の検討にあたっては、平成18年(2006年)7月～10月の間、地元住民や商業者、イベントなどへの来訪者、第一駐車場及び自転車駐車場の利用者を対象に、箕面駅周辺の整備に関する意向調査を実施した。

(1) 来訪者アンケートの主な結果

箕面駅周辺の現状、商業地の印象

『通りの通行しやすさ』や『駅前の広場や通りの雰囲気』については、比較的良い印象を得ている。

『お店の種類や数』や『地域全体の賑わい』については、「悪い」とする意見が多い。

アーケード

『全てあった方が良い』という意見が多い。また、「雨が降ったとき傘をささずに商店街へ行けるように」といった機能性重視の意見が多い。

地域に特に足りないと思う施設、あった方が良くと思う施設

『ベンチなどの休憩施設』が必要であるという意見が、最も多い。その他は、『トイレ』や『駐輪場』、『自由に利用できる広場・スペース』、『街路樹や花壇などの緑』の順に多い。

駅前、商業地として改善が必要なもの

『お店の商品構成』や『店先や建物の雰囲気や造り』といった意見が多く、商店のイメージアップが求められている。また、ハード整備としては、『駐車場・駐輪場の造り・色』や『通路・通り・アーケードの造り・色』の改善を求める意見が多い。

(2) 地域住民アンケートの主な結果

まちづくりにおいて重視すべき事項

『買い物など利便性の向上』、『山並みや街並みなどの景観への配慮』を重視する意見が多い。さらに、『緑や水などの自然との調和』という意見も1割を超えており、景観への配慮も含めて、豊かな自然を積極的に活かしたまちづくりが望まれる。

箕面駅周辺で、特に足りないと思われる施設、充実した方が良くと思われる施設

『駅前の一般車両の駐停車スペース』や『駐輪場』、『ベンチなどの休憩施設』といった意見が多い。特に、『駅前の一般車両の駐停車スペース』については、送迎用のキス・アンド・ライドの場所の確保、明確化を求める意見が多い。また、『駐輪場』については、「もっと駅の近くに設置してほしい」や「駐輪台数が足りない」、「箕面駅の西側にも駐輪場を設置してほしい」といった意見が見られる。

箕面駅周辺で、特に改善すべき事項

『駐車場・駐輪場の造り、デザイン』という意見が最も多く、次いで『トイレやベンチの造り、デザイン』、『駅前広場の造り、デザイン』という意見が多い。

(3) 地元商業者アンケートの主な結果

箕面駅周辺の現状、商業地の印象

『地域全体の賑わい』や『お店の種類や数』について、「悪い」とした意見が多い。

まちづくりにおいて重視すべき事項

『買い物など利便性の向上』を重視する意見が特に多い。これは、自店の経営に関わる部分であり、当然の結果ともいえる。

箕面駅周辺で、特に足りないと思われる施設、充実した方が良いと思われる施設

『駐車場』、『駐輪場』、『アーケード』、『トイレ』の順に意見が多い。

箕面駅周辺で、特に改善すべき事項

『駐車場・駐輪場の造り、デザイン』という意見が多い。

(4) 第一駐車場利用者アンケートの主な結果

第一駐車場を利用して感じたこと

『駐車場の建物の外観』や『駐車場の建物の内装や設備』、『駐車場の中の明るさ』について否定的な印象が強い。

駐車場を利用しにくい理由

3割以上の方が『車室がせまく駐車しにくい』、『入口の幅がせまく入りにくい』、『出口から外の見通しが悪く危険』と感じている。また、『構内の見通しが悪く危険』や『場内の徒歩の移動が危険』、『車路がせまく走りにくい』、『場外への出入り口が分かりにくい』といった意見も多く、利便性や機能性の向上のために全体的な改善が求められている。

駐車場の利用を促進する上で、特に改善すべき事項

『施設の補修・改修』という意見が最も多く、『施設の建て替えや規模の拡大』という意見を大きく上回っている。全般に、ソフト面での取り組みよりもハード面での取り組みが重要視されている。

(5) 自転車駐車場利用者アンケートの主な結果

自転車駐車場を利用して感じたこと

5割以上の利用者が『駐輪場の建物の外観』や『駐輪場の建物の内装や設備』、『駐輪場の中の明るさ』、『駐輪場の利用しやすさ』について否定的な印象を持っている。

利用しにくい理由

『車室がせまく駐車しにくい』や『構内の見通しが悪く危険』、『入口の幅がせまく入りにくい』、『車路がせまく走りにくい』という意見が多い。

自転車駐車場の利用を促進する上で、特に改善すべき事項

『施設の補修・改修』という意見が最も多く、次いで『設備や機能の充実』という意見が多い。全般に、ソフト面での取り組みよりもハード面での取り組みが重要視されている。



お絵かきイベント（H18.7.28,29開催）の作品（駅前広場）

お絵かきイベント（H18.7.28,29開催）の作品（本通り）

2. 箕面駅周辺整備方針検討ワークショップの結果

本整備計画の検討にあたっては、意向調査のほかにも、多様な意見を聴取するために、市民や商業者、行政担当者が参加する検討ワークショップを全6回開催した。検討ワークショップでは、課題の抽出・共有の後、全体コンセプトの検討、後述の整備方針及び整備計画の原案の検討を行った。

(1) 検討ワークショップから得られた整備上の問題点・課題

検討ワークショップでは、箕面駅周辺の整備上の問題点・課題として、以下のような意見が見られた。

【駅前広場の整備に関する問題点・課題】

ロータリー（交通空間としての役割）

1) 交通処理の観点

- ・駅前ロータリーに自家用車待機スペースを確保する。
- ・ロータリー内に利用者別（車）ゾーンを整備する。
- ・駅南側のスペースを一時置き駐輪場（コイン駐輪場）などの設置により有効利用し、通路の不法駐輪の解消を図る。

2) 交通空間としての付加的な観点

- ・障害者用のパーキングが必要。
- ・ロータリーにおいて、一定間隔で歩道と車道の段差を改良し、障害者の乗降に配慮する。
- ・駅前広場の歩道、広場のスペースを広げる（配置の見直し）。車道、ロータリー、バス停スペースの整理、コンパクト化。結果的に視野が広がる。

環境空間としての役割

1) 交流の観点

- ・「歩行者が大切」「人が大切」にかえていくために歩道を拡幅・美しくする。
- ・水の出ない噴水は撤去するかモニュメント化して、いろはもみじを植える。秋になり電車から降りた観光客、乗客が、まず駅前で紅葉を目にしたら印象的だと思う。とにかく箕面らしさを出す。
- ・駅前広場の噴水のところが、人が入れる小公園（例えば、池田駅前のように）になるといい。子供が遊べるような。（排気ガスが充満しないかたちで）
- ・ウェンディーズ前広場の活用。イスを増やす。木製テラスのように活用。休憩所のイメージ。

2) 景観の観点

- ・「箕面らしさ（山・自然）」を感じられるように開放感のある駅前広場に。
- ・駅前広場の視界を良くする。噴水、モニュメントの撤去、移設。バス停施設（屋根、柱など）の見直し。
- ・サンプラザからバス停へ、信号を2回も渡らずに、1回で渡れるようにスクランブル交差点にできないか。
- ・駅前に緑と花があることは良い。プランターを増やせば良いのでは。アダプトをもっと活用すればよい。プランター管理をして下さっているボランティアの活動を応援するため、散水栓を設置する。

- ・駅前広場の植込みは、緑のみにする。花は手入れが大変なので（枯れるとかえって汚い）できるだけ手入れの要らない常緑樹にする。一定の高さの高木を植樹するとよい。ロータリー外周の景観をよくする。駅周辺のプランターは、すべて不要。

3) サービスの観点

- ・駅前周辺に街路灯を設置して明るくする。
- ・公衆電話は必要なし。
- ・滝道に散歩、ハイキング、買い物などに来た方が休めるベンチ（座る場所）が欲しい。木陰があればなお良い。
- ・改修、公衆トイレの改修（ユニバーサルデザインほか）
- ・駅前広場に商店街の大型案内板を設置。滝道から駅に戻る人が、商店街がわかるように誘導サインを設置。
- ・観光案内所の充実。
- ・郷土資料館を含め、どこに何の建物があるのか分からない。特に駅からの視点。観光客にも・・・。
- ・地図の入ったサインを駅前とミスタードーナツ前に設置する。
駅前ロータリー、サンプラ、本通り、駐車駐輪場を表示（駅から商店街の存在を知らせるため）する案内サインが必要。
- ・景観ポイントを作成し、チラシ配布により観光客の回遊性を誘導する。

都市核としての役割

- ・駅前広場の拡大（有効利用できるような）。

【第一駐車場、自転車駐車場の整備に関する問題点・課題】

道路交通の改善（沿道アクセスの向上、安全性の向上 など）

- ・駐車場東側の道路側溝にフタを。

自動車利用者の利便性の向上

- ・駐車場西側出入口を北と南2ヶ所に。南側はブロックを取り、道路と一体化。
- ・サンプラザ1号館南出入口と駐車・駐輪場のつなぎ改善。
- ・駐車場については利用者の意見を聞いて。

都市の健全な発展への寄与（中心市街地・商業地の活性化、都市イメージの向上など）

- ・外装が汚れて錆びている。駐車駐輪場の外壁塗装などを実施し、景観を向上。
- ・駐車場の壁面のペンキ塗り替え。壁画を描いては？
- ・駐車場周辺のブロック塀を撤去し、樹木、花壇、ベンチなどを配し、親水空間を生み出す。
- ・駐車場の前の柵をデザイン性の高い柵につけかえる。（少し高級感のあるものに）
- ・駐車・駐輪場のレトロな箱型スタイルを活かして、手を入れ、リメイクする。
- ・駐車場1F東側（箕面公園通り側）にミニショップの設置をし、まちの活性化を図る。

交通結節点周辺における自転車駐車需要への対応

- ・駐輪場が出入りしづらく、使用に不便である。駐輪場の入口が分かりにくいので表示する。
- ・駐輪場は利用しにくい。バイクの駐車台数も多くし、駅前から自転車、バイクを一掃す

れば良い。

- ・駐輪場は建て替え。駐輪場を縮小し、公共スペースを広げる。

サービス・拠点としての役割

- ・外装が汚れて錆びている。駐車駐輪場の外壁塗装などを実施し、景観を向上。
- ・鳥小屋のイメージ。景観を活かしながらなんとかできないだろうか。
- ・メインストリートに鉄骨むき出しの駐輪場が似つかわしくない。
- ・駐車・駐輪場のレトロな箱型スタイルを活かして、手を入れ、リメイクする。
- ・不法駐輪を減少させるため、駐輪場にはイベント発信基地、修理場もセットで整備し、会員制にして利用率を高めるなど。マナー・モラル学習の場にも。

目的施設の附置

- ・サンプラザ1号館南出入口と駐車・駐輪場のつなぎ改善。

【アーケード・街路の整備に関する問題点・課題】

通路としての役割

- ・アーケードを設置して雨に濡れずに商店街入口から駅改札まで通行できるようにしてほしい。また、デザインの一体感のあるアーケードを設置する。
- ・北側アーケードを撤去できないか。
- ・車道側のフェンスの取替え。
- ・アーケード下の歩道のタイルが危ない（段差）。舗装（インターロッキング）の補修。
- ・店舗前のスペースと歩道との段差を解消する。サンプラ～駅への歩道の段差、型抜きが今の時代にそぐわない。もっと弱者に優しいデザインに。滝道の入口（派出所横）の傾斜を階段に。一部障害者用として傾斜を残す。
- ・サンプラ1号館南側歩道を広げて歩きやすくする。
- ・商店街を回遊できるように統一したデザインが欲しい。

沿道利用としての役割

- ・商店街の商品陳列を道路へ広げてはいけない。
- ・気楽に楽しく一杯飲め、おしゃべりするところがほしい。
- ・箕面公園通りのT字路の景観をもっと活用できないか？（インパクトが強い）
- ・箕面公園通り上にトラックなどの荷さばきスペースを確保する
- ・サンプラ1号館南の東西の通りを重視。本通りとの四ツ辻を演出。

環境空間としての役割

- ・本通りの舗装と歩道の舗装を合わせる。一体感を出すと広く見える。
- ・放置して荒れている花壇を除く。樽の花も必要なし。道路が狭いので取り除く。
- ・商店街の水路の改善、適正な維持管理。
- ・アーケードをもっと軽い感じのものに。すっきりした型（アクリルなど）にし、見通しを良く。
- ・アーケードの内側に絵を描くことで印象を明るくする。アーケード・鉄柱部分の色統一と色検討。
- ・サンプラ1号館前は駐車禁止を徹底させる。景観と商店PRのため。
- ・照明、デコレーション、花などを設置。（商店街、ビルの協力が必要）

- ・ 歴史的道路の表示を示すこと。

収容空間としての役割

- ・ 本通りの電線を地中化する。
- ・ 景観・まちづくり。まちを見通せるような配置を心がける。
- ・ 建物関係の色調を統一する景観条例を設ける。
- ・ 高さ制限、法律化を。色、デザインにも制限を。良いものには助成金を。
- ・ 山、空が箕面の財産。



検討ワークショップ（タウンウォッチング）



検討ワークショップ（意見交換）



検討ワークショップ（全体議論）



検討ワークショップ（全体議論）



検討ワークショップ（意見発表）



検討ワークショップ（成果報告会）